

令和6年7月

長崎港大型客船入出港に伴う 航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、17万GT級客船の長崎港松が枝岸壁への受入れの安全性について調査・検討し、入出港について必要な航行安全対策をとりまとめた。

ビジュアル操船シミュレータ検証実験における外力影響の諸条件は過年度検討時（平成21年度及び27年度）の条件を適用して実施し、対象船舶の入出港時の安全性を検証して入出港条件を決定した。また、あびき発生時を含む係留限界風速については、係留動揺シミュレーション結果を基に検討し決定した。

さらに、対象船舶はこれまでに長崎港に入出港した大型客船に比べエアードラフトが高いことから女神大橋航過時の桁下余裕高については、あびきによる海面上昇量、潮位誤差、操船者の心理的余裕等を考慮し、潮汐を利用した入出港が可能な基準潮位を検討し決定した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 大型客船受入れ計画
- (3) 航行環境
- (4) 基礎検討
- (5) 入出港時の安全性検討
 - ・ビジュアル操船シミュレータ実験
- (6) 係留時の安全性検討
 - ・係留動揺シミュレーション
- (7) 桁下余裕高を踏まえた女神大橋航行時の安全性検討
- (8) 航行安全対策